

道路維持修繕工-アスファルト舗装工(透水性舗装工、排水性舗装工、保水性舗装工等) 九州フィールド対象NETIS技術等選定一覧

工法比較対象技術
 新規対象技術(調査中)
 削除技術

令和6年3月現在

※「活用状況(本省)」欄にNETIS掲載期間内の大まかな活件数を記す。☆=500件以上、◎=100件以上、○=50件以上、□=20件以上 (注)NETISホームページへ移動しない場合は、ファイルをダウンロードしてご使用ください。

整理番号	技術名	NETIS番号	A V G	アブストラクト	区分	分類1 Lv.1	分類1 Lv.2	分類1 Lv.3	分類1 Lv.4	技術の位置づけ	活用 効果 評価	活用 状況 (本省) ※	掲載期間 終了技術 (終了時期)	生産供給体制(機械保有台数等)	備 考	NETIS HP リンク先(注)
1	フル・ファンクション・ペーパー(FFP)	KT-130010	VE	本技術は、混合物1層の内に排水機能に加えて防水機能が得られる多機能型排水性舗装で、従来は排水性舗装で対応していた。本技術の活用により、取込んだ雨水等の水分が下層へ浸透せず下層の保護が期待できるため、品質が向上する。	工法	舗装工	アスファルト舗装工	排水性舗装工	車道舗装工		有			9台(内一台を株式会社ガイアート熊本営業所にて保管)全国の施工状況により変更有り		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-130010%20
2	リラクスファルトHT舗装	KT-180056	A	本技術は流動抵抗性と応力緩和・変形追従性を非常に高レベルで両立させた特殊アスファルト舗装で、従来はポリマー改質Ⅱ型アスファルト舗装で対応していた。本技術の活用により、耐流動性とクラック発生抑制ができるので耐久性の向上により品質の向上が図れます。	工法	舗装工	アスファルト舗装工	アスファルト舗装工	車道舗装工					技術提供可能地域: 全国(弊社プラントから供給可能な範囲)		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-180056%20
3	凍結抑制舗装・ザベック工法タイプG	KT-990566	VG	本技術は、物理・化学系凍結抑制舗装で、従来は電熱式ロードヒーティングで対応していた。本技術の活用により、車両の輪荷重を利用した物理的凍結抑制効果と凍結防止剤による化学的凍結抑制効果を同時に発揮するため、安価で走行安全性の向上が期待できる。	工法	舗装工	特殊舗装工	特殊舗装工	車道舗装工	[H26活用促進(旧)]	有		○ (H29年4月)	納期は受注後約1ヶ月、現場にての施工となり、プラント・販売拠点の所在地等の制約はなし		
4	砕石マステックアスファルト舗装	KT-990564	VG	本技術は、砕石マステックアスファルト舗装で、従来、床版防水工にはグースアスファルト舗装、道路表層には密粒度アスファルト舗装で対応していた。本技術の活用により、耐久性・品質・経済性の向上が期待できる。	材料	舗装工	アスファルト舗装工	アスファルト舗装工	車道舗装工	評価済み	有	□	○ (H29年4月)	技術提供可能地域: 全国(自社営業所・プラント所在地近郊)		
5	ルビット舗装	KT-990006	VG	本技術は、粉砕廃タイヤのゴム粒子を混入した特殊なアスファルト混合物を舗装し、舗装表面に突出したゴム粒子により路面の水結層を破碎する凍結抑制舗装で、従来は密粒度舗装で対応していた。本技術の活用により、凍結抑制効果、リサイクル性向上が期待できる	工法	舗装工	特殊舗装工	特殊舗装工	車道舗装工	評価済み	有	□	○ (H29年4月)	技術提供可能地域: 全国(沖縄を除く)		
6	大粒径アスファルト混合物	HR-990089	VG	本技術は重交通道路舗装についてアスファルト混合物の最大粒径を大きくして耐流動性向上と厚層施工による施工能力を高めた技術で、従来は各層を標準厚で施工するアスファルト舗装で対応していた。本技術の活用により耐流動・耐摩耗などの向上及び早期交通開放が期待できる。	材料	舗装工	アスファルト舗装工	アスファルト舗装工	車道舗装工	[H26活用促進(旧)]	有		○ (H29年4月)	全国に点在する合材工場(配合試験が必要)で対応可能である。現場条件に対応した施工機械を運搬可能である。		
7	エコファイン	CB-980017	VG	本技術はアスファルト混合物の製造時に発泡系の特殊添加剤を使用することにより、製造及び舗設温度を約30℃低減した技術で、従来は通常の製造・舗設温度でアスファルト混合物を施工していた。本技術の活用により、CO2排出量削減・省エネルギー化・省資源化に貢献できる。	材料	舗装工	アスファルト舗装工	アスファルト舗装工	車道舗装工	評価済み	有	□	○ (H29年4月)	各プラントにて対応可能。(混合段階にて特殊添加剤を投入し、エコファインとして出荷)		
8	セーフペーパー	CB-980020	VG	本技術は、乳剤散布装置つきアスファルトフィニッシャーでタックコート用乳剤の散布と排水性混合物の舗設(標準厚25mm)とを同時に行うもので、従来は乳剤の散布と排水性舗装の舗設(標準厚50mm)を別々に行っていた。本技術の活用により経済性の向上と工期短縮等が期待できる。	工法	舗装工	アスファルト舗装工	アスファルト舗装工	車道舗装工	[H24活用促進(旧)]	有		○ (H29年4月)	乳剤散布装置付きアスファルトフィニッシャーが2台しかないため、使用する場合は運搬費が発生する。(埼玉県さいたま市⇄現場)		
9	遮水型排水性舗装(POSMAC)	KT-040084	VG	本技術は、混合物層の下部に遮水機能を有する排水性舗装を一層で構築する技術で、従来は不透水性の基層を含めた2層構築する排水性舗装で対応していた。本技術の活用により、省資源・省エネルギー、施工時間の短縮、大幅なコスト削減が期待できる。【旧技術名称:POSMAC】	工法	舗装工	アスファルト舗装工	排水性舗装工	車道舗装工	[設計比較]	有	□	○ (H29年4月)	技術提供可能地域: 全国		
10	GRP工法(QUICK REPAIR PAVEMENT 急速舗装修繕工法)	CG-990019	VG	GRP工法は、道路舗装における工事による交通渋滞の緩和および耐久性の高い舗装の築造を目的とした、GRP工法用大粒径混合物による急速施工工法である。	工法	道路維持修繕工	道路打換え工			[設計比較][活用促進]	有	◎	○ (H29年4月)	全国		
11	マップ工法	QS-980139	VG	本技術は、マルチアスファルトペーパー(特殊アスファルトフィニッシャー)を用いて、2種類のアスファルト混合物を同時に敷きならす工法で、従来は排水性舗装工で対応していた。本技術の活用により騒音低減効果の向上などが期待できる。	工法	舗装工	アスファルト舗装工	アスファルト舗装工	車道舗装工	評価済み	有	○	○ (H27年11月)	技術提供可能地域: 全国		
12	エマルテック工法	CB-040033	VG	エマルテック工法は従来のチップシール(撒布式表面処理)工法施工方法を改善し、専用フィニッシャーで施工するチップシール工法です。適用により、1.エマルテック表面処理工法、2.エマルテックSAMI工法、3.エマルテック遮水工法の3種類があります。	工法	舗装工	アスファルト舗装工	アスファルト舗装工	車道舗装工	評価済み	有	□	○ (H29年4月)	特に制限なし		
13	タックファインSQ工法	KT-180007	VE	本技術はアスファルト乳剤と分解剤を特殊ディストリビューターで同時散布し、アスファルト乳剤の分解時間を従来技術の最大1/10に短縮する技術で、従来はPKM-Tで対応していた。本技術の活用により、タックコートの養生時間が短縮されるため、工程の短縮が図れます。	材料	舗装工	アスファルト舗装工	アスファルト舗装工	車道舗装工		有			福岡工場、熊本工場、大分工場、鹿児島工場より。散布可能車両計8台配備		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-180007%20
14	よごさんゾル	CG-150008	VE	本技術は、タックコート用乳剤に使用するアスファルトの針入度を下限に近い値とした材料で、タイヤへの付着を抑制できることから乳剤が周囲の路面や走行車両を汚すことがなく、また乳剤の分解が速いことから施工時間が短縮する。	材料	舗装工	アスファルト舗装工	排水性舗装工	車道舗装工		有			製造: 広島県の乳剤工場 技術提供可能地域: 中国・四国地方、福岡県・熊本県(九州は少量散布ではコスト高となるため施工数量による)		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CG-150008%20
15	分解促進型タックコート工法(スーパータックゾール工法)	TH-140008	VE	本技術は、専用散布機により、新しく開発したアスファルト乳剤と促進剤を同時に散布することで、分解を早めたタックコート工法である。本技術の活用により、数十分を要していたタックコート乳剤の分解時間が5分以下にまで短くなるため、施工時間の短縮が図られる。	工法	舗装工	アスファルト舗装工	アスファルト舗装工	車道舗装工		有			全国対応可(沖縄除く)		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=TH-140008%20
16	HSアスコン舗装	KTK-190001	A	本技術は、剛性のある特殊な熱可塑性樹脂を添加したポリマー改質アスファルトを使用するアスファルト舗装であり、従来は、半たわみ性舗装で対応していた。本技術の活用により、アスファルト舗装と同様に施工可能なため、作業工程短縮による経済性の向上が図れます。	材料	港湾・港湾海岸・空港	舗装工	アスファルト舗装工	表層					・技術提供可能地域については制限なし(アスファルト合材、アスファルト混合物の届くエリアまで)		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KTK-190001%20
17	ひび割れ、わだち掘れに強い改質アスファルト【シナヤカファルト】	QS-200025	VE	本技術はアスファルト舗装工に寄与する技術である。ひび割れ及びわだち掘れに対する抵抗性に優れ、特にひび割れが伝搬しにくい改質アスファルトである。切削オーバーレイ等に活用することで、従来よりも舗設後のひび割れ発生を大幅に遅延させ、舗装の長寿命化が図れる。	材料	舗装工	アスファルト舗装工	アスファルト舗装工	車道舗装工		有			拠点生産工場: 北海道恵庭市、宮城県仙台市、栃木県下野市、千葉県千葉市、愛知県稲沢市、兵庫県姫路市、広島県東広島市、愛媛県伊予郡砥部町、大分県大分市		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=QS-200025%20
18	高耐久アスファルト用改質剤 ニュートラック	KT-210017	A	本技術は、アスファルトに添加することで高耐久性が得られる改質剤技術で、従来はセメントミルクを注入する半たわみ性舗装で対応していた。本技術の活用により、セメントミルク不使用の為、施工作業短縮となる他、施工後の早期交通開放も可能となる。	材料	舗装工	アスファルト舗装工	アスファルト舗装工	車道舗装工					技術提供可能地域: 全国、拠点生産工場: 花王鹿島工場(茨城県神栖市)		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-210017%20
19	分解促進型タックコート工法(QBタック)	KK-210073	A	本技術は路面温度5℃程度の低温期でも分解促進剤を用いることにより、タックコートの分解養生時間を短縮可能な工法技術であり、従来はタックコート(アスファルト乳剤)を使用していた。本技術の活用により経済性、施工性の向上及び工期短縮が期待できる。	工法	舗装工	アスファルト舗装工	アスファルト舗装工	車道舗装工					技術提供可能地域: 北海道は除く日本国内(専用ディストリビューター: 3台(沖縄県2台、和歌山県1台))		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KK-210073%20
20	ストロングファルト	KT-220083	A	本技術は、大型車両の駐車場等に使用する高強度アスファルト混合物で、従来はポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物で対応していた。本技術の活用により、専用添加剤を添加してアスファルト混合物を高強度化して、舗装のわだち掘れ等の破損を抑制し品質向上が図れます。	材料	舗装工	アスファルト舗装工	アスファルト舗装工	車道舗装工					・技術提供可能地域: 開発会社混入所の所在地から提供可能な地域(※地域や交通の便により異なるため確認が必要)		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-220083%20
21	スマートコート	KT-220239	A	本技術は、特殊アスファルト混合物を用いた薄層オーバーレイ工法であり、従来は切削オーバーレイ工法により対応していた。本技術の活用により、切削量の低減が可能となるため、経済性の向上、工期の短縮および周辺環境への負荷の低減が期待される。	工法	道路維持修繕工	路面補修工	わだち掘れ補修工								https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-220239%20

道路維持修繕工-アスファルト舗装工(透水性舗装工、排水性舗装工、保水性舗装工等) 九州フィールド対象NETIS技術等選定一覧

工法比較表対象技術
 新規対象技術(調査中)
 削除技術

令和6年3月現在

※「活用状況(本省)」欄にNETIS掲載期間内の大まかな活件数を記す。☆=500件以上、◎=100件以上、○=50件以上、□=20件以上 (注)NETISホームページへ移動しない場合は、ファイルをダウンロードしてご使用ください。

整理番号	技術名	NETIS番号	A V G	アブストラクト	区分	分類1 Lv.1	分類1 Lv.2	分類1 Lv.3	分類1 Lv.4	技術の位置づけ	活用 効果 評価	活用 状況 (本省) ※	掲載期間 終了技術 (終了時期)	生産供給体制(機械保有台数等)	備考	NETIS HP リンク先(注)
22	エラスペーブ	KT-220246	A	本技術は、高耐久型弾力性アスファルトを用いた表層用混合物で、従来はストレートアスファルト(60~80)を使用していた。本技術の活用により疲労抵抗性とフレクションクラック(基層ひび割れの表層への上昇伝播)抑制性能が高まり、ライフサイクルコストの低減が図れる。	材料	道路維持修繕工	路面補修工	その他								https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-220246%20
23	開粒度薄層オーバーレイ工法「POSMAC-ST」	KT-230020	A	本技術は、開粒度薄層オーバーレイ工法で、従来は再生密粒度アスファルト混合物による薄層オーバーレイ工法であった。本技術の活用により、既設舗装保護と路面排水機能を両立でき、ハイドロプレーニング現象や水はね等の発生を抑制し、走行安全性の向上が図れる。	工法	舗装工	アスファルト舗装工	アスファルト舗装工	車道舗装工							https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-230020%20
24	改質グースアスファルト混合物「スマートグース」	KT-230070	A	本技術はポリマー改質アスファルトを使用したグースアスファルト舗装で、従来はバインダ針入度が20/40級のアスファルトにトリニダッドレイクアスファルトを加えたもので対応していた。本技術の活用により、耐流動性と曲げ疲労抵抗性が向上するため品質の向上が図れる。	工法	舗装工	アスファルト舗装工	グースアスファルト舗装工								https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-230070%20